

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

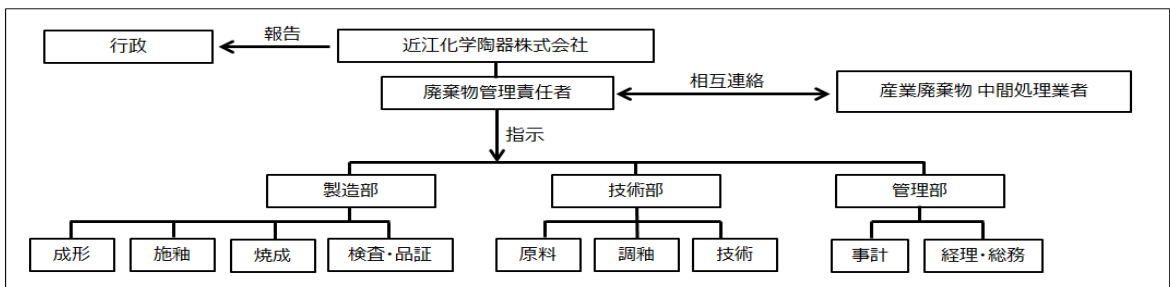
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和5年6月28日
滋賀県知事 殿		
提出者		
住所 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2408		
氏名 近江化学陶器株式会社 代表取締役 瀬戸 明弘		
電話番号 0748-83-1111		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	近江化学陶器株式会社	
事業場の所在地	滋賀県甲賀市信楽町勅旨2408	
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	21 窯業・土石製品製造業	
②事業の規模	売上高：6.3億円/年	
③従業員数	43名	
④産業廃棄物の一連の処理の工程		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	別紙の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	別紙の通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙の通り		
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙の通り		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 別紙の通り			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙の通り		
②計画	【目標】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙の通り		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙の通り		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙の通り		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	ガラス、コンクリート、陶磁器くず		汚泥		廃プラスチック		木くず ^a		安定型混合	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
排出量	1,028.8 t	1,000.0 t	16,445.8 t	16,500.0 t	2.8 t	2.0 t	0.0 t	12.0 t	0.0 t	3.0 t
これまでに実施した取組	・不良削減に対するライン改善、劣化復元 ・生産前品質確認の強化 ・不良改善会議の開催				・廃棄プラトレーの有価物化を継続				・実施していない	
今後実施する予定の取組	・生産前品質確認の強化継続 ・不良削減のための品質チェック、設備劣化復元 ・製品作り過ぎ対策、生産計画精度のアップ				・廃棄プラトレーの有価物化の推進 ・分別と異物除去、掃除の取組みの継続 ・廃棄プラケースの有価物化の推進				・予定なし	
産業廃棄物の分別に関する事項										
分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	・タイルに付着した有機物を除去し、埋立処分品をリサイクル品にするための作業を実施。				・PPプラ材質を分別し、異物を除去し有価物化を行っている。				・実施していない	
今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	・継続してタイルのリサイクル作業を行う。				・PPプラ材質を分別し、異物を除去し有価物化を継続 ・廃棄プラ容器の異物除去と分別、有価物化を進める。				・予定なし	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組	・色切替え時に廃棄汚泥品での切替え土有効利用				・実施していない				・実施していない	
今後実施する予定の取組	・色切替え時に廃棄汚泥品での切替え土有効利用継続				・予定なし				・予定なし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	15,579.1 t	15,640.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組	・汚泥脱水機の間口増設により、汚泥処理量を増加取りまでのリードタイムを延ばし、含水率の減少を図る。 ・汚泥脱水処理設備の整備を行い脱水能力を引上げ				・実施していない				・実施していない	
今後実施する予定の取組	・含水減少処理は継続させる ・汚水量(洗い水)の減少対策を実施する				・予定なし				・予定なし	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組	・実施していない				・実施していない				・実施していない	
今後実施する予定の取組	・予定なし				・予定なし				・予定なし	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
全処理委託量	1,028.8 t	1,000.0 t	866.7 t	848.0 t	2.8 t	2.0 t	0.0 t	12.0 t	0.0 t	3.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,028.8 t	1,000.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	1,028.8 t	1,000.0 t	866.7 t	848.0 t	2.8 t	2.0 t	0.0 t	12.0 t	0.0 t	3.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組	・陶磁器くずは、継続して優良認定処理業者へ全量処理を行う				・実施していない				・実施していない	
今後実施する予定の取組	・優良認定処理業者の委託継続を続ける ・優良認定処理業者及び委託処理業者に対して、定期現地確認を行う				・委託処理業者に対して、定期現地確認を行う ・木くずの有価物取引の検討、推進				・予定なし	